RoHS

RMT5001-DFS

DFS5001/DFS5002 リモート制御パネル

取扱説明書

Ver 1.01

株式会社コスミックエンジニアリング

RoHS

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

注意　この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

⚠ 警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカに修理を依頼してください。

■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。

■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。 火災・感電の原因となります。

■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。

■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。 火災・感電の原因となります。

■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。 ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。 風通しの悪い狭い場所に押し込む。

■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙 1
はじめにお読みください 2
目次 5

１． 概要 7
２． 構成 7
３． 機能 7
４． 操作説明 8
４－１． 電源の投入と切断 8
４－２． 各部の名称 8
４－２－１． フロントパネル 8
４－２－２． リアパネル 9
５． 据付方法 10
５－１． ラックへの取付方法 10
５－２． 接続 10
５－２－１． 電源ケーブルの接続 10
５－２－２． イーサネット接続 10
６． メニュー 11
６－１． 第一階層メニュー 11
６－２． FS1 PARAM メニュー 11
６－２－１． FS1 P11 11
６－２－２． FS1 P12 11
６－２－３． FS1 P13 11
６－３． FS2～FS4 PARAM メニュー 11
６－４． TARGET メニュー 12
６－４－１． SEARCH メニュー 12
６－４－２． FS1 IP ADRESS メニュー 12
６－４－３． FS1 SLOT NO メニュー 12
６－４－４． FS2 IP ADRESS メニュー 12
６－４－５． FS2 SLOT NO メニュー 12
６－４－６． FS3 IP ADRESS メニュー 12
６－４－７． FS3 SLOT NO メニュー 12
６－４－８． FS4 IP ADRESS メニュー 12
６－４－９． FS4 SLOT NO メニュー 12
６－５． PRESET LOAD メニュー 13
６－６． PRESET SAVE メニュー 13
６－７． OTHERS メニュー 13

６－７－１． PARAM COPY メニュー 13
６－７－２． RS422 CTL メニュー 13
６－７－３． SETTING WRITE メニュー.....13
６－７－４． AUTO BACK LIGHT OFF メニュー 13
６－７－５． FACTORY DEFAULT メニュー 13
６－８． NETWORK メニュー.....13
６－８－１． IP ADDRESS メニュー 13
６－８－２． SUBNET MASK メニュー 13
６－８－３． GATEWAY メニュー.....13
６－８－４． APP PORT メニュー.....13
６－９． 設定できるパラメーター一覧.....13
７． コネクタ ピンアサイン表 18
７－１． RS-422 コネクタ 18
８． 定格および電気的特性 18
９． 外観図.....19
１０． お問い合わせ 20

RoHS

1．概要

●RMT5001-DFS は、C5000 のフレームシンクロナイザーDFS5001/DFS5002（以後、DFS モジュールと省略）専用リモート制御パネルです。

●EIA-1RU の 19 インチラックマウントサイズです。

●欧州 RoHS 指令に適合しております。

2．構成

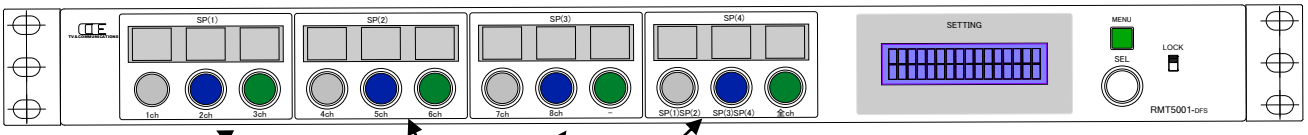
RMT5001-DFS 本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品　名	型　名	数量	備　考
リモート制御パネル	RMT5001-DFS	1	本体
電源ケーブル		1	
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

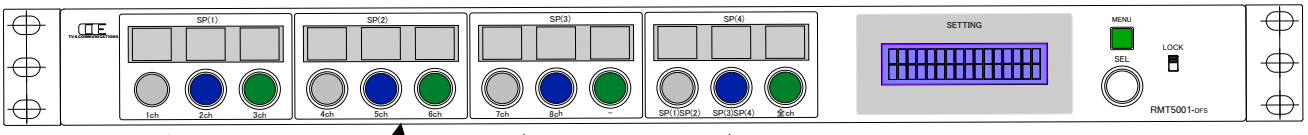
3．機能

・大きく分けて 4 つのブロックで独立制御することができ、最大 1 台あたり 4 モジュールの制御が可能。4 モジュールは LAN に接続された任意の C5001 もしくは C5002 システムに搭載された DFS モジュールを選択可能。



4 つのブロックに任意の DFS モジュールを設定

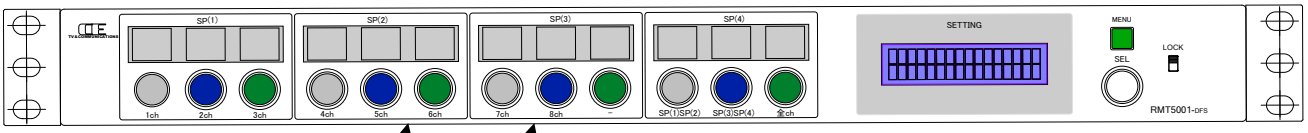
・1 ブロックあたり、3 つのパラメータを設定できますので、1 台で 4 モジュールを 3 パラメータずつ同時調整が可能。



FS1(PhaseH,PhaseV,AudioDelay)　　FS4(RemapCh01, RemapCh02, RemapCh03)

FS2(Luminance,Hue,Saturation)　　FS3(Emb01InGain, Emb02InGain, Emb03OutGain)

また、上記の FS2,FS3,FS4 を FS1 に設定することにより、1 つのモジュールで、最大 12 パラメータを同時調整可能



全て FS1

(PhaseH,PhaseV,AudioDelay)　　(RemapCh01, RemapCh02, RemapCh03)

(Luminance,Hue,Saturation)　　(Emb01InGain, Emb02InGain, Emb03OutGain)

・DFS モジュールとの通信は LAN 経由で SNMP プロトコルで実施。

・パラメータには、ステータスを選択することもでき、各ステータスにより表示色が変化。（例、REF エラー時に赤表示）

・16 個のプリセットを用意し、プリセット切替により最大 64 台の DFS モジュールを制御することが可能。

・RS-422 による通信コマンドにより、各ブロックに設定する DFS モジュールを切り替えたり、設定するパラメータを切り替えたり、プリセットの切替が可能。

・フロントパネルには LOCK スイッチを用意しており、設定禁止にすることが可能。

４．操作説明

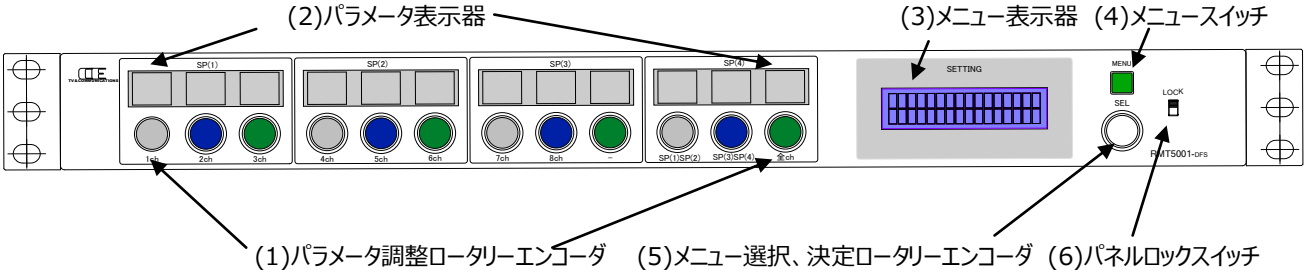
４－１．電源の投入と切断

電源スイッチはありません。電源コード接続し、電源プラグを AC コンセントに挿入すると電源が入り、電源プラグを抜くと電源が切れます。

（注意）電源投入後、内蔵ライブラリィの読み込みに約 3 分かかります。ライブラリィの読み込み状態を LCD 右上にパーセント表示しますので、読み込み終わるまで操作せずにお待ちください。

４－２．各部の名称

４－２－１．フロントパネル



(1)パラメータ調整ロータリーエンコーダ

(2)パラメータ表示器

設定されたパラメータを調整するロータリーエンコーダとパラメータ表示器です。ロータリーエンコーダを回した時点で HW 設定は更新され、現在の設定値と異なる状態では、パラメータ表示器の設定値が点滅します。この状態でメニュースイッチを押すと元の設定値に戻ります。点滅状態で、パラメータ調整ロータリーエンコーダを押すと値が確定し、通常表示となります。

(3)メニュー表示器

メニューモードではパラメータ設定メニューを表示し、通常状態では接続先の C5000 との通信状態及び、現在のプリセット番号を表示します。

(4) メニュースイッチ

1 秒以上長押しすると、メニューモードにはいります。メニューモードでは短押しでキャンセル動作となります。通常モードでは各パラメータ変更のキャンセルスイッチとして動作します。

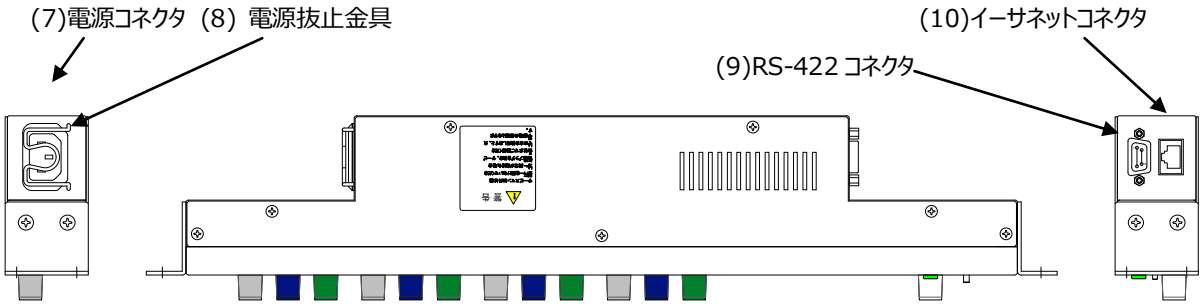
(5) メニュー選択、決定ロータリーエンコーダ

メニューモードでは、メニュー内容の選択、決定スイッチとなります。

(6)パネルロックスイッチ

フロントパネルの操作を無効にします。

4－2－2．リアパネル



(7)電源コネクタ

付属品の電源ケーブルを接続するコネクタです。

(8) 電源抜止金具

抜け防止のために電源ケーブルを固定する金具です。

(9)RS-422 コネクタ

RS-422 通信コネクタです。

(10)イーサネットコネクタ

イーサネットケーブルを接続するコネクタです。

5．据付方法

注意

ご使用のフレームの電源がオフであることを確認してから作業を行ってください。 電源がオフでないと機器間のGND電位差による感電、機器の損傷等の可能性があります。 また、静電気等により機器が損傷等する可能性がありますので、静電対策を行ってから作業を行ってください。

5－1．ラックへの取付方法

本機を EIA 規格のラックに取り付ける場合は、本体前面の両サイドにあるラックマウント取り付け穴（左右に各 2 個）を利用し、M5 のネジを使用して取り付けます。

5－2．接続

5－2－1．電源ケーブルの接続

付属品の電源ケーブルのメス側を電源コネクタ(7)に接続して電源抜止金具(8)で固定します。

電源ケーブルのオス側は AC コンセントに挿入して下さい。

設置場所の AC コンセントが 3 極でない場合は、市販のプラグアダプタを使用していただき、必ずプラグアダプタのアース線を施設のアース端子に接続してください。

※ 電源ケーブルに付属品以外をご使用になると、形状により電源抜止金具(8)が使用できなくなる場合があります。

※ 電源投入後、内蔵ライブラリィの読み込みに約 3 分かかります。ライブラリィの読み込み状態を LCD 右上にパーセント表示しますので、読み込み終わるまで操作せずにお待ちください。

5－2－2．イーサネット接続

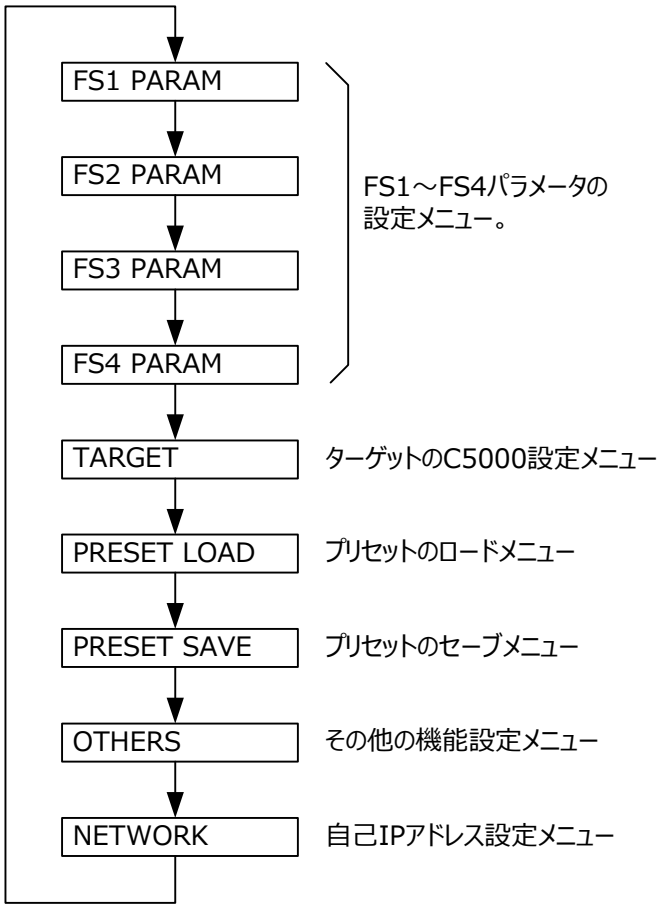
イーサネットコネクタ(10)に LAN ケーブルを接続します。ターゲットの DFS モジュールを搭載した C5000 システムと同じネットワークに接続してください。

6．メニュー

通常モードでメニュースイッチを 1 秒以上長押しすることにより、メニューモードに入ります。

6－1．第一階層メニュー

ロータリーエンコーダを時計回りに回すことにより、下記矢印の方向にメニューが遷移します。設定する項目を選び、ロータリーエンコーダを押すことにより下位階層のメニューに遷移します。



6－2．FS1　PARAM メニュー

P11～P13 の 3 つのパラメータを選択するメニューです。

6－2－1．FS1　P11

FS1 P11 のパラメータを設定します。設定できるパラメータ一覧は 6-9 を参照してください。

6－2－2．FS1　P12

FS1 P12 のパラメータを設定します。設定できるパラメータ一覧は 6-9 を参照してください。

6－2－3．FS1　P13

FS1 P13 のパラメータを設定します。設定できるパラメータ一覧は 6-9 を参照してください。

6－3．FS2～FS4　PARAM メニュー

FS1 と同様です。

6－4．TARGET メニュー

ターゲットの C5000 と搭載されている DFS モジュールのスロットを設定するメニューです。

6－4－1．SEARCH メニュー

SEARCH メニューを選択すると No/Yes と選択できますので、Yes を選択すればリモート制御パネルと接続された C5000 をサーチし、IP アドレスを記憶します。本メニュー実行前に C5000 の IP アドレスの設定、自己 IP アドレスの設定、ネットワークの接続を終えている必要があります。

6－4－2．FS1 IP ADRESS メニュー

FS1 に接続する DFS モジュールの搭載された C5000 の IP アドレスを設定します。SERACH メニューで検出した IP アドレスが表示されますので選択し、決定してください。

6－4－3．FS1 SLOT NO メニュー

FS1 に接続する DFS モジュールのスロット番号を設定します。SERACH メニューで検出したスロット番号が表示されますので選択し、決定してください。

6－4－4．FS2 IP ADRESS メニュー

FS2 に接続する DFS モジュールの搭載された C5000 の IP アドレスを設定します。

6－4－5．FS2 SLOT NO メニュー

FS2 に接続する DFS モジュールのスロット番号を設定します。

6－4－6．FS3 IP ADRESS メニュー

FS3 に接続する DFS モジュールの搭載された C5000 の IP アドレスを設定します。

6－4－7．FS3 SLOT NO メニュー

FS3 に接続する DFS モジュールのスロット番号を設定します。

6－4－8．FS4 IP ADRESS メニュー

FS4 に接続する DFS モジュールの搭載された C5000 の IP アドレスを設定します。

6－4－9．FS4 SLOT NO メニュー

FS4 に接続する DFS モジュールのスロット番号を設定します。

6－5．PRESET　LOAD メニュー

プリセットのロードを行うメニューです。NO/YES で YES を選択し、決定するとプリセットが読み出されます。

6－6．PRESET　SAVE メニュー

プリセットのセーブを行うメニューです。NO/YES で YES を選択し、決定するとプリセットが書き込まれます。

ここで、書き込まれるのは、どのパラメータをアサインしたかの情報で、それぞれの設定するパラメータ値ではありません。

6－7．OTHERS メニュー

6－7－1．PARAM　COPY メニュー

パラメータのコピーを行うメニューです。FS1 の設定を FS2 等のたの FS に設定をコピーするときに使用します。

6－7－2．RS422 CTL メニュー

RS422 の有効／無効を設定するメニューです。

6－7－3．SETTING　WRITE メニュー

自己 IP アドレス等を設定したときは、SETTING WRITE にて設定値を保存してください。

6－7－4．AUTO　BACK　LIGHT　OFF メニュー

メニュー表示器のバックライトを自動でオフするかしないかを設定するメニューです。

6－7－5．FACTORY　DEFAULT メニュー

工場出荷時の状態に戻すメニューです。

6－8．NETWORK メニュー

6－8－1．IP ADDRESS メニュー

自己 IP アドレスを設定します。初期値は 192.168.0.9 に設定されています。ロータリエンコーダで増減し、決定スイッチを押してください。

決定を押すごとに 192→168→0→9 の順に遷移しますので順に決定してください。

6－8－2．SUBNET MASK メニュー

サブネットマスクを設定します。初期値は、255.255.255.0 です。設定方法は IP　ADRESS と同じです。

6－8－3．GATEWAY メニュー

ゲートウェイを設定します。初期値は、192.168.0.100 です。設定方法は IP　ADRESS と同じです。

6－8－4．APP PORT メニュー

アプリケーションのポート番号を指定します。初期値は 161 で、通常変更する必要はありません。

6－9．設定できるパラメータ一覧

No	パラメータ	SNMP OID	内容
1	In1RlyCtl	20.1.100	IN1 リレー設定
2	RefSel	20.1.102	リファレンス選択
3	PhaseOffH	20.1.103	水平方向出力位相
4	PhaseOffV	20.1.104	垂直方向出力位相
5	FsMode	20.1.110	FS モード
6	FreezeCtl	20.1.111	フリーズ時の動作制御
7	AncOut	20.1.112	アンシラリィ制御
8	SysFormat	20.1.113	システムフォーマット
9	OutAtcLEn	20.1.121	出力 ATC(LTC)の有効／無効
10	OutAtcVEn	20.1.122	出力 ATC(VITC)の有効／無効

No	パラメータ	SNMP OID	内容
11	TcSel	20.1.123	内蔵 TC の動作を設定
12	TcOffEn	20.1.124	内蔵 TC のオフセット制御
13	TcOffHH	20.1.125	内蔵 TC のオフセット値(時)
14	TcOffMM	20.1.126	内蔵 TC のオフセット値(分)
15	TcOffSS	20.1.127	内蔵 TC のオフセット値(秒)
16	TcOffFR	20.1.128	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)
17	TcLostAct	20.1.129	ATC/LTC 信号ロスト時の動作
18	TcInitHH	20.1.130	内蔵 TC への初期値(時)
19	TcInitMM	20.1.131	内蔵 TC への初期値(分)
20	TcInitSS	20.1.132	内蔵 TC への初期値(秒)
21	TcInitFR	20.1.133	内蔵 TC への初期値(フレーム)
22	TcInitBG1 ～ TcInitBG8	20.1.134 ～ 20.1.141	内蔵 TC への初期値(BG1) ～ 内蔵 TC への初期値(BG8)
23	TcInitBGF	20.1.142	内蔵 TC への初期値(BG flag)
24	TcFrLdEn	20.1.143	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定
25	TcDrFrEn	20.1.144	ドロップフレームの有効／無効（自走時のみ有効）
26	TcInitLd	20.1.145	TC 自走時、初期値のロード設定
27	TcRunEn	20.1.146	TC 自走開始
28	EmbG1En ～ EmbG8En	20.1.200 ～ 20.1.207	出力エンベデッドオーディオ　グループ制御
29	AMPchAuto	20.1.220	音声モードによる自動プリセット切替制御
30	Pre1M	20.1.221	音声モード 1M 時のプリセット
31	Pre2M	20.1.222	音声モード 2M 時のプリセット
32	Pre3M	20.1.223	音声モード 3M 時のプリセット
33	Pre4M	20.1.224	音声モード 4M 時のプリセット
34	Pre1S	20.1.225	音声モード 1S 時のプリセット
35	Pre2S	20.1.226	音声モード 2S 時のプリセット
36	Pre1S2M	20.1.227	音声モード 1S+2M 時のプリセット
37	Pre51	20.1.228	音声モード 5.1 時のプリセット
38	Pre51S	20.1.229	音声モード 5.1+S 時のプリセット
39	PreOther	20.1.230	その他の音声モード時のプリセット
40	Gpi1Func	20.1.240	GPI1 機能選択
41	Gpi2Func	20.1.241	GPI2 機能選択
42	Gpo1Func	20.1.250	GPO1 機能選択
43	Gpo2Func	20.1.251	GPO2 機能選択

No	パラメータ	SNMP OID	内容
44	PreLoad	20.1.280	プリセットロード
45	PreSave	20.1.281	プリセットセーブ
46	CurEmb01IGAIN ～ CurEmb32IGAIN	20.1.300 ～ 20.1.331	エンベ入力 CH のゲイン調整
47	CurEmb01OGAIN ～ CurEmb32OGAIN	20.1.350 ～ 20.1.381	エンベ出力 CH のゲイン調整
48	CurTT1Amp	20.1.400	テストトーン 1 振幅
49	CurTT1Freq	20.1.401	テストトーン 1 周波数
50	CurTT2Amp	20.1.402	テストトーン 2 振幅
51	CurTT2Freq	20.1.403	テストトーン 2 周波数
52	CurRemap01 ～ CurRemap32	20.1.410 ～ 20.1.441	リマップ出力 CH 選択
53	CurDmxSSel01 ～ CurDmxSSel32	20.1.500 ～ 20.1.531	ダウンミックス演算 CH ソース選択
54	CurDmxLCoef01 ～ CurDmxLCoef32	20.1.532 ～ 20.1.563	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数
55	CurDmxRCoef01 ～ CurDmxRCoef32	20.1.564 ～ 20.1.595	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数
56	CurDmxLSign01 ～ CurDmxLSign32	20.1.600 ～ 20.1.631	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号
57	CurDmxRSign01 ～ CurDmxRSign32	20.1.632 ～ 20.1.663	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号
58	CurMix1SSel01 ～ CurMix1SSel04	20.1.700 ～ 20.1.703	音声ミックス 1　CH ソース選択
59	CurMix1Coef01 ～ CurMix1Coef04	20.1.704 ～ 20.1.707	音声ミックス 1　CH 係数

No	パラメータ	SNMP OID	内容
60	CurMix2SSel01 ～ CurMix2SSel04	20.1.710 ～ 20.1.713	音声ミックス２ CH ソース選択
61	CurMix2Coef01 ～ CurMix2Coef04	20.1.714 ～ 20.1.717	音声ミックス２ CH 係数
62	CurMix3SSel01 ～ CurMix3SSel04	20.1.720 ～ 20.1.723	音声ミックス３ CH ソース選択
63	CurMix3Coef01 ～ CurMix3Coef04	20.1.724 ～ 20.1.727	音声ミックス３ CH 係数
64	CurMix4SSel01 ～ CurMix4SSel04	20.1.730 ～ 20.1.733	音声ミックス４ CH ソース選択
65	CurMix4Coef01 ～ CurMix4Coef04	20.1.734 ～ 20.1.737	音声ミックス４ CH 係数
66	CurMix5SSel01 ～ CurMix5SSel04	20.1.740 ～ 20.1.743	音声ミックス５ CH ソース選択
67	CurMix5Coef01 ～ CurMix5Coef04	20.1.744 ～ 20.1.747	音声ミックス５ CH 係数
68	CurMix6SSel01 ～ CurMix6SSel04	20.1.750 ～ 20.1.753	音声ミックス６ CH ソース選択
69	CurMix6Coef01 ～ CurMix6Coef04	20.1.754 ～ 20.1.757	音声ミックス６ CH 係数
70	CurMix7SSel01 ～ CurMix7SSel04	20.1.760 ～ 20.1.763	音声ミックス７ CH ソース選択
71	CurMix7Coef01 ～ CurMix7Coef04	20.1.764 ～ 20.1.767	音声ミックス７ CH 係数

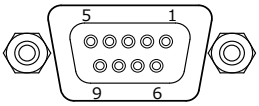
No	パラメータ	SNMP OID	内容
72	CurMix8SSel01 ～ CurMix8SSel04	20.1.770 ～ 20.1.773	音声ミックス８ CH ソース選択
73	CurMix8Coef01 ～ CurMix8Coef04	20.1.774 ～ 20.1.777	音声ミックス８ CH 係数
74	CurAudioDelay	20.1.780	音声遅延
75	CurLuminance	20.1.790	輝度設定
76	CurSaturation	20.1.791	彩度設定
77	CurHue	20.1.792	色相設定
78	SDI Rem Rec	20.1.260	SDI リモート録画制御
79	AlEnIntComm	20.1.800	内部バス通信エラーアラームイネーブル
80	AlEnSD1Unlock	20.1.802	SDI IN1 アンロックアラームイネーブル
81	AlEnRefUnlock	20.1.804	REF アンロックアラームイネーブル
82	AlEnLtcUnlock	20.1.805	LTC アンロックアラームイネーブル
83	TrEnSD1Unlock	20.1.851	SDI IN1 アンロックトラップイネーブル
84	TrEnRefUnlock	20.1.853	REF アンロックトラップイネーブル
85	TrEnLtcUnlock	20.1.854	LTC アンロックトラップイネーブル
86	SetDefault	20.1.900	デフォルト設定に戻す
87	CfgWrite	20.1.901	現在の設定をコンフィグ設定ファイルに書き込む
88	In1	30.1.100	SDI IN1 のステータス
89	Ref	30.1.102	REF のステータス
90	AlmIntComm	30.1.201	内部バス通信エラーアラームステータス
91	AlmSD1Unlock	30.1.202	SDI In1 アンロックアラームステータス
92	AlmRefUnlock	30.1.204	REF アンロックアラームステータス
93	AlmLtcUnlock	30.1.205	LTC アンロックアラームステータス
94	Non		パラメータ設定なし

7．コネクタ ピンアサイン表

7－1．RS-422 コネクタ

Dsub9 ピン（メス）、インチネジ

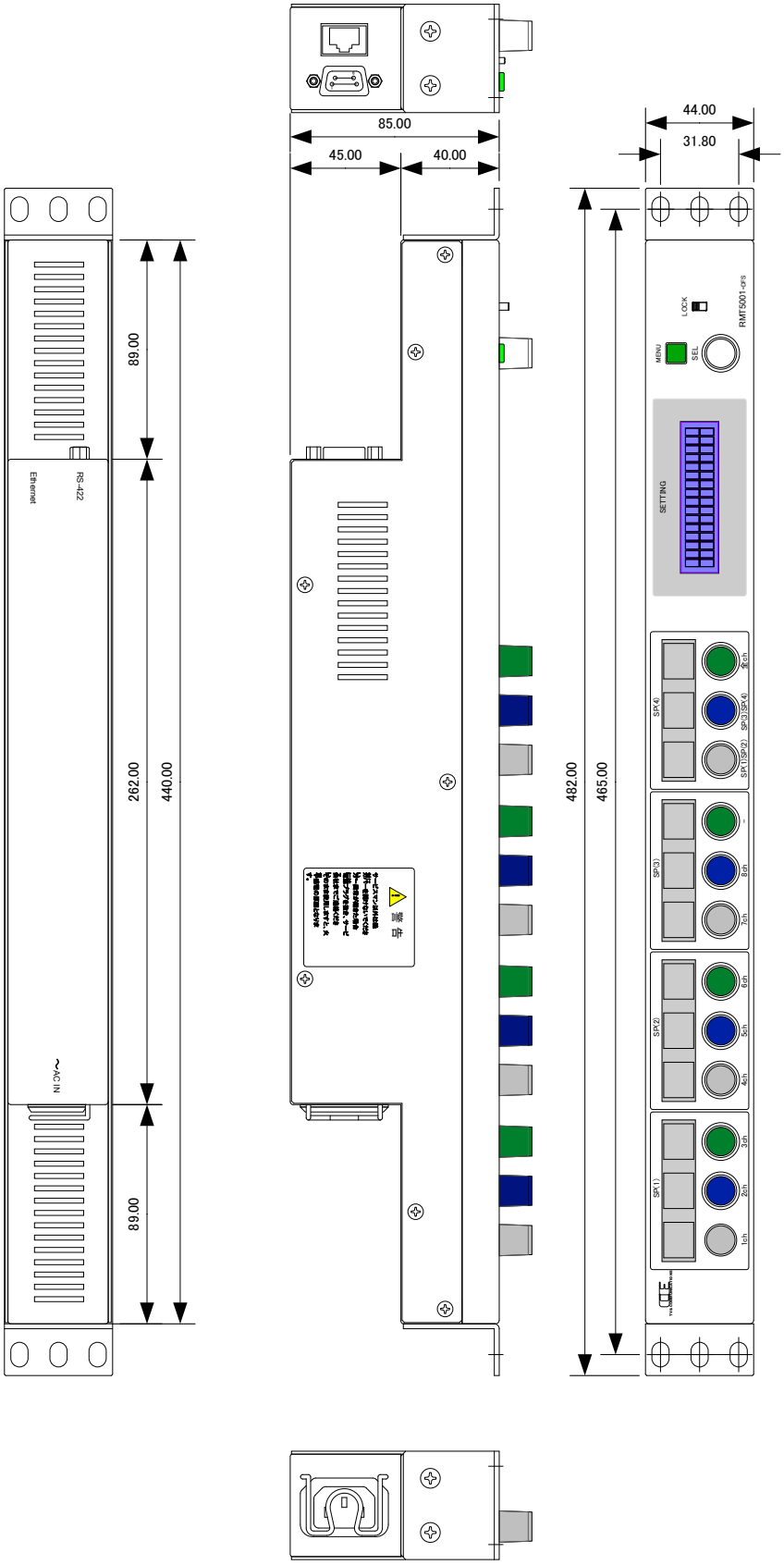
PIN NO	信号名
1	Frame Ground
2	TxD-
3	RxD+
4	NC
5	NC
6	NC
7	TxD+
8	RxD-
9	Frame Ground



8．定格および電気的特性

イーサネットコネクタ	コネクタ	RJ-45×1
	対応レート	110/100Mbps
RS-422 コネクタ	コネクタ	D サブ 9 ピン メス
	用途	コマンドによる設定変更
動作環境		0℃～40℃ 20%～85%（結露なきこと）
電源		AC100V～240V±10%(AC90～264V) 50/60Hz
消費電力		5W
外形寸法		W440 x H44 x D85 mm （突起部を除く）
質量		1.6kg

9．外観図


44.00
31.80
482.00
465.00
LOCK
MENU
SEL
RMT5001-DFS
SETTING
SPK(4)
SPK(3)
SPK(2)
SPK(1)
85.00
45.00
40.00
警告
89.00
262.00
440.00
89.00
RS-422
Ethernet
~AC IN

１０．お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address：〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 （代表）

042-586-2650 （SI 部）

FAX： 042-584-0314

URL: http://www.cosmic-eng.co.jp/

E-Mail:c1000@cosmic-eng.co.jp